



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ

コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 照和

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 土屋 洋介 (TEL) 03-6361-7100

四半期報告書提出予定日 2019年11月7日

配当支払開始予定日 2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	60,802	4.3	9,776	9.2	9,856	3.0	7,037	△0.6
2019年3月期第2四半期	58,268	△0.0	8,950	△0.4	9,566	3.4	7,082	7.1

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 2,993百万円（△58.4%） 2019年3月期第2四半期 7,197百万円（△0.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	92.03	—
2019年3月期第2四半期	92.63	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	287,010	206,839	70.6
2019年3月期	287,322	206,141	70.2

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 202,562百万円 2019年3月期 201,816百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00
2020年3月期	—	32.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	32.00	64.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	3.4	17,000	△8.2	18,000	△8.6	12,300	△15.7	160.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料の9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	76,758,362株	2019年3月期	76,758,362株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	249,881株	2019年3月期	300,631株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	76,472,210株	2019年3月期2Q	76,457,973株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ4.3%増の60,802百万円となりました。

利益につきましては、営業利益9,776百万円（前年同期比9.2%増）、経常利益9,856百万円（前年同期比3.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,037百万円（前年同期比0.6%減）となりました。売上原価率は、前年同期に比べ0.5ポイント上昇しました。また、販管費率は1.2ポイント低下し、これらの結果として、営業利益率は前年同期に比べ0.7ポイント上昇し、16.1%となりました。

[ 連結業績 ]

(単位：百万円)

	2018年 第2四半期	2019年 第2四半期	対前期増減額 (増減率)
売上高	58,268	60,802	2,533 (4.3%)
営業利益	8,950	9,776	826 (9.2%)
経常利益	9,566	9,856	290 (3.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,082	7,037	△44 (△0.6%)

医療用漢方製剤全体の売上高は、前年同期に比べ4.2%伸長しました。当社は、中期経営計画の戦略課題である、「漢方市場の持続的拡大とプレゼンスの確立」に向け、「高齢者関連領域」「がん領域（支持療法）」「女性関連領域」を重点3領域と位置づけており、育薬5処方<sup>※1</sup>やGrowing5処方<sup>※2</sup>を中心に情報提供活動を展開しております。

当社の主力品目であり、育薬処方の大建中湯は、第1四半期連結累計期間では、前年同期と比べ1.5%減少しましたが、当第2四半期連結累計期間においては、前年同期比0.7%増となりました。今後は更なる伸長を目指し、病院市場での情報提供活動を徹底するとともに、開業医市場においても便秘症の症状のうち、治療満足度が低いと考えられる「腹部膨満感」に焦点をあて、新たな市場の獲得に向けた活動を強化してまいります。

同じく育薬処方の六君子湯、Growing処方の麦門冬湯、五苓散が堅調に推移しました。その他の処方では、人參養榮湯が好調に推移しました。

漢方医学に対する医療関係者のニーズは益々多様化しており、医師への面談、医療機関説明会、漢方医学セミナーを基本とし、基礎・臨床エビデンス、漢方製剤掲載の診療ガイドラインおよび漢方医学的な処方の使い分け等に関する適切な情報提供活動を引き続き実施してまいります。

※1 育薬5処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンスを確立することを「育薬」と名付け、取り組んでいる処方

※2 Growing5処方：

育薬5処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データ等）により診療ガイドライン掲載を目指す成長ドライバー

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は287,010百万円で、前連結会計年度末に比べて312百万円の減少となりました。流動資産は、たな卸資産が増加した一方で、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べて2,349百万円の減少となりました。固定資産は、株価の下落により投資有価証券が減少した一方で、投資その他の資産のその他の増加等により、前連結会計年度末に比べて2,036百万円の増加となりました。

負債合計は80,170百万円で、前連結会計年度末に比べて1,010百万円の減少となりました。流動負債は、未払法人税等が増加した一方で、流動負債のその他の減少等により、前連結会計年度末に比べて97百万円の減少となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて912百万円の減少となりました。

純資産合計は206,839百万円で、前連結会計年度末に比べて697百万円の増加となりました。株主資本は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて4,742百万円の増加となりました。その他の包括利益累計額は、繰延ヘッジ損益の減少等により、前連結会計年度末に比べて3,996百万円の減少となりました。また、非支配株主持分は、前連結会計年度末に比べて47百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は0.4ポイント増加して70.6%となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間末は、営業活動によるキャッシュ・フローが8,696百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが4,739百万円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローが2,529百万円の支出となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、8,696百万円の収入となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前四半期純利益9,837百万円、支出項目ではたな卸資産の増減額5,342百万円であります。前年同期との比較では、4,217百万円収入が増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,739百万円の収入となりました。主な内訳は、定期預金の増減額14,226百万円であります。前年同期との比較では、9,273百万円収入が増加しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,529百万円の支出となりました。主な内訳は、配当金の支払額2,447百万円であります。前年同期との比較では、14,993百万円支出が減少しております。

以上の結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて10,556百万円増加し、66,800百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月9日に公表しました2020年3月期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,240	68,389
受取手形及び売掛金	44,524	42,955
商品及び製品	9,382	7,258
仕掛品	11,125	13,493
原材料及び貯蔵品	31,299	35,974
その他	21,459	19,611
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	190,027	187,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	64,800	64,488
その他	85,673	88,927
減価償却累計額	△76,769	△79,038
有形固定資産合計	73,703	74,377
無形固定資産		
投資その他の資産	872	1,144
投資有価証券	15,642	13,862
退職給付に係る資産	1,934	2,173
その他	5,143	7,773
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	22,719	23,810
固定資産合計	97,295	99,331
資産合計	287,322	287,010
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,267	6,383
短期借入金	10,314	10,314
未払法人税等	2,101	2,991
返品調整引当金	10	9
その他	14,626	13,524
流動負債合計	33,320	33,222
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	9,376	9,376
退職給付に係る負債	74	73
その他	8,410	7,498
固定負債合計	47,861	46,948
負債合計	81,181	80,170

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	14,027	14,041
利益剰余金	149,740	154,331
自己株式	△815	△677
株主資本合計	193,095	197,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,697	4,463
繰延ヘッジ損益	740	△973
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	△313	△1,339
退職給付に係る調整累計額	△76	△99
その他の包括利益累計額合計	8,721	4,724
非支配株主持分	4,324	4,276
純資産合計	206,141	206,839
負債純資産合計	287,322	287,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	58,268	60,802
売上原価	23,536	24,893
売上総利益	34,732	35,908
販売費及び一般管理費	25,782	26,132
営業利益	8,950	9,776
営業外収益		
受取利息	129	315
受取配当金	124	133
持分法による投資利益	35	—
為替差益	319	—
その他	136	104
営業外収益合計	745	552
営業外費用		
支払利息	87	63
持分法による投資損失	—	39
為替差損	—	237
その他	41	132
営業外費用合計	129	472
経常利益	9,566	9,856
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	324	0
特別利益合計	325	2
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	46	20
特別損失合計	46	21
税金等調整前四半期純利益	9,844	9,837
法人税等	2,575	2,729
四半期純利益	7,268	7,108
非支配株主に帰属する四半期純利益	186	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,082	7,037



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	7,268	7,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,254	△1,233
繰延ヘッジ損益	182	△1,714
為替換算調整勘定	△1,515	△1,135
退職給付に係る調整額	33	△23
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	△8
その他の包括利益合計	△71	△4,115
四半期包括利益	7,197	2,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,120	3,040
非支配株主に係る四半期包括利益	76	△47

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,844	9,837
減価償却費	3,146	3,243
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△254	△448
支払利息	87	63
持分法による投資損益(△は益)	△35	39
有形固定資産除売却損益(△は益)	45	19
売上債権の増減額(△は増加)	1,555	1,550
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,152	△5,342
仕入債務の増減額(△は減少)	1,073	204
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△324	△0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△193	△280
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	6
その他	△6,266	1,266
小計	7,528	10,157
利息及び配当金の受取額	286	475
利息の支払額	△94	△62
法人税等の支払額	△3,241	△1,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,479	8,696
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△1,000	14,226
有形固定資産の取得による支出	△6,049	△6,065
有形固定資産の売却による収入	1	4
無形固定資産の取得による支出	△194	△335
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,806	△21,127
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	7,501	21,121
子会社出資金の取得による支出	△952	△2,996
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	1	1
その他	△33	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,534	4,739
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△15,000	—
配当金の支払額	△2,446	△2,447
非支配株主への配当金の支払額	△54	△56
その他	△22	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,523	△2,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	△720	△349
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,299	10,556
現金及び現金同等物の期首残高	78,313	56,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,014	66,800

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）または流動負債（その他）として繰り延べております。